

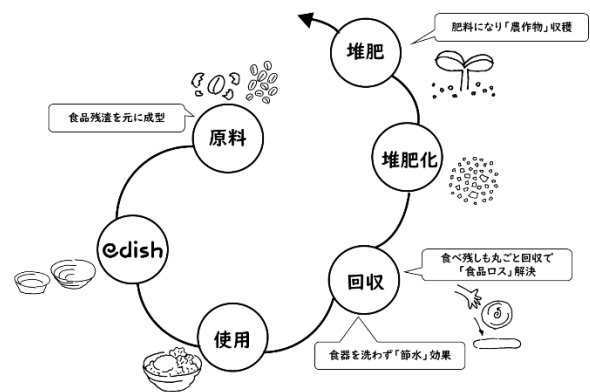
2023年3月7日
丸紅株式会社

循環型食器『edish』の2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）
「Co-Design Challenge」プログラムへの採択について

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）が手がける「循環型食器 edish」が、2025年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」）会場にて使用されることが決まりました。公益社団法人2025年日本国際博覧会協会が公募した運営参加特別プログラム「Co-Design Challenge」に採択されたものです。



食品廃材を使用した循環型食器 edish



edish のアップサイクル・プロセス

Co-Design Challenge は、「大阪・関西万博を契機に、これからの日本の暮らし（まち）をつくる」をコンセプトとした新しい共創事業です。今回の採択を受け、edish を万博会場における飲食の場に提供します。使用済み edish の回収も行い、万博で発生する生ゴミとともに堆肥化して土壌改良剤として活用します。

edish は 2019 年度に開催された、丸紅のビジネスプランコンテストから誕生した循環型食器です。「次世代につなぐ循環型社会の実現」をビジョンに掲げ、これまでほとんど用途がなかった食物の皮等の食品廃材を、独自の技術で食器にアップサイクル（*）します。また、使用後に回収された edish を堆肥化して土の栄養とし、野菜や花として再び飲食の場に戻すことで 2 回目のアップサイクルを目指します。現在、100 社以上の企業・イベント団体等へ導入されています。

丸紅は 2021 年 3 月に気候変動長期ビジョンを策定し、中期経営戦略「GC2024」において、グリーン戦略を企業価値向上に向けた基本方針の一つと位置付けています。今後も食品廃材を原料にした edish を使用・回収し、焼却処分を行わない資源循環を実現することで CO2 排出量の削減を目指していきます。

（*）サステナブルなものづくりの新たな方法論の一つ。従来から行われてきたリサイクル（素材の原料化、および再利用）ではなく、元の製品よりも価値の高いものを生み出すことを最終的な目的としている。



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

Marubeni

<関連リリース>

2021年9月16日付 プレスリリース

循環型食器「edish」の環境省実証事業採択について

～食器の回収から堆肥化、野菜の栽培までのアップサイクルを実現～

<https://www.marubeni.com/jp/news/2021/release/00081.html>

2020年7月30日付 プレスリリース

“循環型食器”『edish』の実証実験を開始

～使用後は飼料や肥料に、誰でも簡単に参加できる“食器のアップサイクル”～

<https://www.marubeni.com/jp/news/2020/release/20200730J.pdf>

『edish』公式ホームページ：<https://edish-jp.com/>

以上